

# 研究だより

令和3年1月22日(金)  
渋谷区立上原小学校  
校長 河口 尚志  
研究推進委員会

テーマ：つぶやきやひらめきから考えを深める児童の育成

## 研究推進委員より

12月17日(木)に2年1組で国語「わたしはおねえさん」の研究授業を行いました。当日は、妹の書いた落書きの絵を消しかけて消すのをやめたときのすみれちゃんの気持ちを考える場面でした。

授業のはじめは、子供たち自身で今日のめあてを考えるとところから始まりました。その後、Formsを使って、自分だったら絵を消すか消さないかのアンケートをとりました。すぐにパッと結果が表れ、子供たちはどんな意見が多いのか、他の子の考えに興味津々になりました。

誰がどの意見なのか分かりやすいように、赤白帽を用いて、同じ意見の友達や、異なる意見の友達と、その理由について意見を交流しました。友達の考えを聞いて、自分のワークシートにすみれちゃんの考えの吹き出しを増やしたり、もともとの吹き出しの内容を変更したりしている姿が見られ、2年生として十分に考えが深まっている様子が見られました。

協議会では、理解したことを表現したり、表現しながら自分の考えの理解をふかめたりする様子が見られたことや、登場人物になりきるアクティビティによる効果について、明治大学専任准教授・岸磨貴子先生に助言をいただきながら考えていきました。

## 12月17日(木)の研究授業の様子

### 2年 国語科「わたしはおねえさん」

#### 導入

本時のめあてを子供たちと考えた後、自分だったらどうするか、Formsを使ってアンケートをとりました。

Formsでアンケート集計を行うことで、どんな考えの友達がどのくらいいるのか視覚的に分かり、友達の考えに対する関心が高まりました。



## 展開1

妹の落書きを消そうとしたけど消さなかったすみれちゃんの気持ちを考え、交流しました。



吹き出し形式で、すみれちゃんの思いを書き表しました。



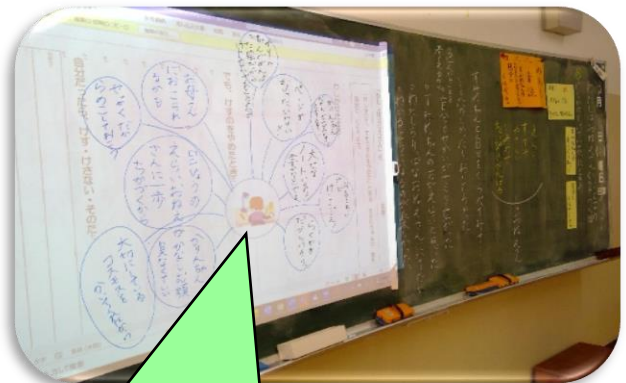
友達の見えんを見に行きました。自分の考えと比べ、「なるほど〜」などと納得の音が聴かれました。

## 展開2

交流によって知ることのできた友達の考えをワークシートに考えを付けたし、みんなで共有しました。



交流を終え、考えを共有しました。自分の考えに付け足しをした考えや、いろいろな視点からの考えおが見られました。



「消しかけたとき」と「消さなかったとき」の気持ちを書く場所を変えて、吹き出しで書き表したことにより、すみれちゃんの気持ちの変化が考えやすくなりました。